

全老健第 8-143 号
令和 8 年 9 月 11 日

公益社団法人日本看護協会
会 長 秋 山 智 弥 様

公益社団法人全国老人保健施設協会
会 長 東 憲太郎
(公印省略)

【緊急！】
介護分野の幅広い職種の賃上げ及び介護事業所の経営状況等調査へ
ご協力のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年春に実施しました介護関係団体の共通の調査にご協力を賜り誠に有難うございました。その調査結果をもとにした各種要望活動等の結果、本年 7 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2026【骨太方針】」には、昨年の骨太に引き続き“経営実態を把握した上で、物価と賃金の変動に適切に対応し、経営の安定、処遇改善を図りつつ、社会保障制度改革を着実に実行する”、“高齢化による増加分に相当する伸びに経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算する”といった文言が明記されるなど、介護現場の要望を盛り込んだ成果を得ることができました。

一方、本年もこの秋から年末にかけて、次期(令和 9 年度)介護報酬改定の議論が本格化するところでございます。この重要な局面において、現場の実態を「数字」で示せるかどうか、今後の動向を左右します。介護現場の切実な声を確かなエビデンスとして届けるため、本年春と同様に介護関係団体が一致団結して、共通調査を実施することとなりました。

御会におかれましても本調査の趣旨をご賢察のうえ、標題調査にご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白